

令和3年度

事業報告書

令和3年4月1日から

令和4年3月31日まで

公益財団法人沖縄県学校給食会

令和3年度事業報告

<管理部門>

I 組織（令和4年3月31日現在）

役員、評議員、職員および各種委員会

1 役員等

評議員	理事	監事
10	7	2

2 職員（ ）内は会計年度職員

事務局長	統括監	総務課	物資課	業務課	食品検査食育支室	委託職員
1	1	3（0）	9（2）	3（1）	2（2）	運転手 12 作業員 4

3 各種委員会

物資委員会	パン品質調査会	物資流通情報センター
26	12	7

4 役員等に関する事項（令和4年3月31日現在）

（1）評議員 定数：8名以上12名以内 現在数：10名 任期：4年

役職名	氏名	所属名 職名
評議員	大田 出	八重瀬町立具志頭小学校 教頭
評議員	宜保 律子	沖縄県学校栄養士会 会長
評議員	砂川 龍也	那覇市教育委員会学校給食課 課長
評議員	井口 直子	琉球大学農学部亜熱帯生物資源学科 准教授
評議員	玉城 博紀	（一社）沖縄県PTA連合会 理事
評議員	山城 健	（元）沖縄県学校給食会 事務局長
評議員	前原 昌直	（元）沖縄県学校給食会 理事長
評議員	池原 誠	北谷町立学校給食センター 所長
評議員	宇地原 勇	八重瀬町教育委員会学校教育課 課長
評議員	喜久本 直貴	沖縄県教育庁保健体育課学校安全・給食班 班長

（2）理事 定数：6名以上9名以内 現在数：7名 任期：2年

役職名	氏名	所属名 職名
理事	城間 敏生	沖縄県教育庁保健体育課 課長
理事	又吉 元晃	名護市立稲田小学校 校長

令和3年度事業報告

理事	杉本 龍	(一社) 沖縄県 PTA 連合会 理事
理事	知花 正人	読谷村教育委員会教育総務課 課長
理事	嘉数 勲	J A おきなわ農業振興本部さとうきび振興部 次長
理事	新垣 悦男	公益財団法人沖縄県学校給食会 理事長
理事	澤岬 寛稔	公益財団法人沖縄県学校給食会 常務理事

(3) 監事 定数：2名以内 現在数：2名 任期：2年

役職名	氏名	所属名 職名
監事	山里 望	(一社) 沖縄県 P T A 連合会 事務局長
監事	與那覇正人	沖縄県立那覇商業高等学校 校長

(4) 役員等及び職員の異動

役職名	氏名	異動年月日	摘要
評議員	中沼 豊	令和3年6月24日	辞任
評議員	玉城 博紀	令和3年6月24日	就任
評議員	外間 徳男	令和3年6月24日	辞任
評議員	喜久本 直貴	令和3年6月24日	就任
理事	太田 守克	令和3年6月24日	任期満了
理事	城間 敏生	令和3年6月24日	就任
理事	當山 忠男	令和3年6月24日	任期満了
理事	又吉 元晃	令和3年6月24日	就任
理事	島崎 朋広	令和3年6月24日	任期満了
理事	杉本 龍	令和3年6月24日	就任
理事	盛根 敦	令和3年6月24日	任期満了
理事	知花 正人	令和3年6月24日	就任
理事	久高 成次	令和3年6月24日	任期満了
理事	嘉数 勲	令和3年6月24日	就任
理事	新垣 悦男	令和3年6月24日	重任
理事長	新垣 悦男	令和3年6月25日	選定
理事	澤岬 寛稔	令和3年6月24日	重任
常務理事	澤岬 寛稔	令和3年6月25日	選定
監事	與那覇 正人	令和3年6月24日	重任
監事	東 建策	令和3年6月24日	任期満了
監事	山里 望	令和3年6月24日	就任
職員・再雇用	新崎 親正	令和4年3月31日	退職

令和3年度事業報告

II 会議

1 理事会

第1回通常理事会：令和3年6月3日

第1号議案 令和2年度事業報告・計算書の承認

第2号議案 定時評議員会の招集の決定

報告事項 代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告

第1回臨時理事会：令和3年6月25日

第1号議案 代表理事（理事長）の選定について

第2号議案 業務執行理事（常務理事）の選定について

第2回通常理事会：令和4年3月11日

第1号議案 令和4年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて

第2号議案 臨時評議員会の招集の決定

報告事項 代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告

令和3年度第1回定時評議員会について

2 評議員会

第1回定時評議員会：令和3年6月24日

報告事項 令和2年度事業報告

第1号議案 令和2年度決算報告書の承認

第2号議案 評議員2名選任

第3号議案 理事7名選任

第4号議案 監事2名選任

評議員提案 本会常勤役員候補者理事の選任について

その他 代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告

第1回臨時評議員会：令和4年3月25日

報告事項 令和4年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて

その他 代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告

3 監事会：令和3年5月27日

令和2年度理事の職務執行の監査

令和2年度事業報告及び決算内容監査

III その他

1 HACCPの手法を取り入れた、本会「取扱物資の安全確保に関する衛生管理マニュアル」に沿った物資の管理を実施し、取扱物資の安全性を確保した。

2 令和3年度より重要事項への対応力を強化するため、令和2年度第2回通常理事会の承認を得て、令和3年4月1日付で統括監の職を設置した。

令和3年度事業報告

- 3 職員採用試験を令和3年8月に実施し、令和4年4月1日付で職員1名採用した。
- 4 (公財) 沖縄県学校給食会特定費用準備資金等取扱規則に基づき、令和3年度貸借対照表の事務所及び倉庫等建設積立資産に令和2年度剰余金 17,078,660 円を計上した。
- 5 令和2年度に国や沖縄県の緊急事態宣言を受け、感染拡大防止をより一層強化し、迅速な対応ができるよう「新型コロナウイルス感染症に本会職員が罹患した場合の緊急的対応について」を策定。令和3年度においても感染防止対策の徹底を実施した。また、本会業務運営においても、普及充実及び食育推進支援に関する事業の一部が中止やオンライン形式等の規模縮小で開催された。
- 6 令和3年度に新たに制定された学校給食用パン及び米飯加工委託工場の選定要項、学校給食用米穀委託とう精工場選定要項に基づき、令和3年11月18日に学校給食委託工場選定委員会の答申を受け、パン及び米飯工場と、とう精工場を選定した。なお、令和4年3月31日をもって契約期間が終了する伊江島の米飯工場に替わって、島内の新たな工場を米飯工場として選定した。
- 7 本会が選定したパン及び米飯加工委託工場は零細小規模等の学校給食専門業者のため、新型コロナウイルス感染防止を目的に学校臨時休業等による影響で、経営状況が厳しい状況下にあることを踏まえ、令和4年1月末に学校給食用パン及び米飯の安定供給を維持するため県内各自治体へ「地方創生臨時交付金」の活用によるパン及び米飯加工委託工場への支援要請を行った。
- 8 玄米の産地の気候変動リスクの軽減及び安定供給のため、令和3年産から従来の福岡県産及び沖縄県産に加えて山口県産及び石川県産を取り扱うこととなった。
- 9 沖縄県より学校給食における県産お菓子の魅力発信事業(予算 77,691,000 円)を受託。新型コロナウイルス感染拡大による需要減少等の影響を受けた観光客向の県産お菓子 11 商品を令和3年6月1日から令和4年2月28日までの期間、沖縄県内の児童生徒へ合計 954,491 食を無償提供した。

令和3年度事業報告

<事業活動>

I 学校給食支援事業（公益目的事業1）

1 学校給食用物資の安定供給に関する事業

(1) 取扱物資の計画的確保と安定供給

○学校数及び給食人数

区分	ミルク給食	完全給食				合計
	幼稚園	幼稚園	小学校	中学校	高校定時	
校数	72	108	267	148	7	530
人数	3,803	5,927	107,213	54,748	1,688	169,576

○給食用物資供給先

	共同調理場数	単独調理場数	計
3年度	70	53	123

○取扱物資数

区分		品数	主な商品
一般物資	常温冷蔵	258	県産 ^ハ の缶詰、醤油、黒糖、乾物他
	冷凍物資	268	かぼちゃ、ほうれん草、県産もずく他
基本物資		31	牛乳、精米、米飯、脱脂粉乳他

○物資別供給金額

物資名	令和3年度	令和2年度	増減額
一般物資	1,154,232,524 円	1,136,337,778 円	17,894,746 円
基本物資	3,163,895,493 円	3,264,995,402 円	▲101,099,909 円
計	4,318,128,017 円	4,401,333,180 円	▲83,205,163 円

○基本物資別使用量

物資名	区分	令和3年度	令和2年度	増減
小麦粉	パン給食用	198,525 kg	235,037 kg	▲36,512 kg
	麺用	42,525 kg	39,475 kg	3,050 kg
	副食用	5,825 kg	7,125 kg	▲1,300 kg
	小計	246,875 kg	281,637 kg	▲34,762 kg
脱脂粉乳	パン用その他	7,379 kg	9,532 kg	▲2,153 kg
米穀	米穀用(精米)	1,528,580 kg	1,523,666 kg	4,914 kg
パン副原料	砂糖他	25,793 kg	28,818 kg	▲3,025 kg
牛乳	県産生乳等	29,286,297 個	30,720,180 個	▲1,433,883 個

令和3年度事業報告

○ 冷凍食品合同選定会（九州8県）

冷凍食品合同選定会（年3回）は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、全て中止となった。そのため、令和3年度2学期分並びに3学期分及び令和4年度1学期分は、九州ブロック推奨品として計13品目を九州全ての県で供給することになった。本会の令和3年度の九州ブロック推奨品の供給実績は、1学期分135,664食、2学期分171,061食、3学期分145,905食を供給した。

○ 中国・九州地区共同購入会議

中国・九州地区共同購入会議（年4回）は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、7月は本会物資課職員不参加となったが、10月及び12月は参加した。2月は新型コロナウイルス感染防止対策のため、書面開催となった。選定された物資455.0t、60品目を計画的に確保した。

（2） 教育の機会均等

- 本会が取り扱う物資は離島含めた県内すべてのセンター、共同調理場、学校等へ供給。商品の送料負担はなく、全県地域に同一商品を同一価格で供給している。

（3） 基本物資（パン・米飯・麺・牛乳）供給工場

区分	北部	中部	那覇	南部	宮古	八重山	合計
パン及び米飯	－（－）	3（4）	2（2）	3（3）	1（1）	－（－）	9（10）
パンのみ	1（1）	1（－）	－（－）	－（－）	1（1）	0（1）	3（3）
米飯のみ	1（1）	1（－）	－（－）	－（－）	1（1）	1（1）	4（3）
麺	1（1）	1（1）	－（－）	－（－）	1（1）	2（2）	5（5）
牛乳	－（－）	1（1）	1（1）	1（1）	1（1）	1（1）	5（5）
計	3（3）	7（6）	3（3）	4（4）	5（5）	4（5）	26（26）

*（ ）内数字は前年度の工場数。

- 経営規模が零細な加工委託工場に対し、適正な品質を堅持するため本会が設備・備品などを無償貸し付等で支援。本年度実績は1件、助成額106,183円。

（4） 適正価格での供給

- 共同購入した実績は7月会議(10品、63.0t)、10月会議(9品、69.0t)、12月会議(16品、127.0t)、2月会議(25品、196.0t)、合計60品、455.0tであった。
- 保護者負担軽減の観点から令和3年度は下記のとおり助成した。

区分	令和3年度	令和2年度	増減
米飯	23,817,727円	24,543,818円	▲726,091円
精米	7,970,995円	8,143,309円	▲172,314円
計	31,788,722円	32,687,127円	▲898,405円

*助成単価は米飯、精米とも10kg当たり209.57円で実施。

令和3年度事業報告

- 物資流通情報モニター委員7名に学校給食会以外の問屋から令和3年11月から令和4年1月の間に購入した商品と本会取扱物資を比較した結果、仕入値が適正であるかの判断の材料とした。
- 一般市場の販売価格動向については本会営業担当者にて令和3年11月から令和4年1月の期間において量販店、業務用スーパー等の動向調査を実施した。本会の取扱う商品は、それらの販売価格を100とすると89.9%の安価な価格で供給できているとの調査結果であった。

(5) 公正な物資選定

○ 物資委員会(年3回)は、学校給食実施校代表、県教育委員会、県環境保健部、衛生機関、市町村給食関係代表者、栄養教諭、栄養職員、学識経験者、PTA代表等の各委員で構成。第1回物資委員会は新型コロナウイルス感染防止対策のため、個別に試食及び採点方式で実施した。第2回物資委員会は通常開催した。また、第3回物資委員会は、第1回と同様の方式で実施した。その結果、第1回物資委員会(6品)、第2回物資委員会(3品)、第3回物資委員会(2品)を持ち帰り品及び給食会推奨品として選定した。また、令和3年度選定品の期間中の使用食数は合計348,942食、金額合計は15,241,310円であった。

2 学校給食物資の安全性確保及び衛生管理に関する事業

(1) 取扱物資の安全性確保

ア 基本物資

- 米穀のDNA鑑定、残留農薬検査・カドミウム検査を5回、品質検査を12回、日本穀物検定協会へ依頼実施し、検定料676,500円となった。
- 小麦粉の検定を日本穀物検定協会へ11回依頼実施し、検定料162,808円となった。

イ パン・麺・牛乳

- パン品質調査会は7月9日、10月8日、令和4年3月8日に開催し、県内の栄養教諭、栄養職員が参加した。参加者は外部講師の指導のもとパン委託加工業者のパン品質判定を行い、その結果は広報誌、ホームページで情報を開示した。
- パンの水分測定、細菌検査(抜取検査)は7月7日、8月24~26日、10月19日、令和4年3月2日に計37検体実施した。
- 牛乳抜き取り検査は、7月14日、12月15日、令和4年3月16日に計15検体実施した。
- 麺の細菌検査(抜取検査)を6月8~21日、10月6~19日、令和4年2月1~9日に計45検体実施した。

令和3年度事業報告

ウ 一般物資

- 中国九州地区共同購入物資の農薬検査及び放射能検査を一般財団法人日本冷凍食品検査協会に依頼。検定料は 840,972 円であった。
- 九州地区冷凍食品共通推奨品の農薬検査及び放射能検査を一般財団法人日本冷凍食品検査協会に依頼。検定料は 89,376 円であった。
- 本会検査室で行う一般物資等の自主検査（細菌検査）は 666 検体を検査した。
- 行事食等の放射能検査（外部委託）は 13 検体を検査し、検定料 242,000 円であった。
- 中国九州地区共同購入物資以外の商品について、平成 29 年度より 2 年毎の残留農薬検査（外部検査）を開始。本年度は 20 検体を検査し、検査料 1,430,000 円であった。

エ 緊急時の危機管理と保険

- 本会では食中毒などの緊急時に対応するため「学校給食会物資取扱危機管理マニュアル」に沿った対応が出来るよう、事務所内に掲示し、職員で読み合わせ等実施した。また、万が一の事故に備えて「食品営業賠償共済保険」（対人賠償 1 人 1 億円、1 事故 10 億円）に加入した。

オ 取扱物資の情報と検査結果の開示

- 本会が取り扱う物資は商品名、包装規格、価格、栄養成分、アレルギー表示、商品説明を記載した「令和3年度取扱物資案内書」を作成し、離島含めた県内すべてのセンター、共同調理場、学校等へ配布した。
- 本会検査室で実施した検査内容及び検体数等は下記のとおり。またその結果については、広報誌等で情報を開示した。

項 目	内 容	
細菌検査	一般物資（取扱物資）	611 検体
	選定物資（行事食サンプル含む）	55 検体
	基本物資（ミルク）	15 検体
	基本物資（パン）	37 検体
	基本物資（めん）	45 検体
理化学検査	ミルク成分規格試験、VBN	48 検体
事故品検索	基本物資	17 件
	一般物資	73 件
調理場からの依頼	事故品・混入異物等の調査	47 件
	自主検査のための検査室開放	0 件
委託工場の衛生指導	工場調査および衛生指導	21 件
	自主検査のための検査室開放	0 件

令和3年度事業報告

(2) 学校給食用物資の衛生管理事業

ア 加工委託選定工場

- 検査室において、選定調査18件、工場視察2件、立ち入り調査1件実施した。
また、検査室は年間を通して開放している。
- 毎年7月に開催され、本会職員が衛生管理向上に努めるよう注意喚起をしている沖縄県学校給食パン協同組合主催の「衛生講習会」は、新型コロナウイルス蔓延防止のため中止となった。
- 本年度の衛生管理ポスター作成は無し。
- 本年度の検査器具の貸与は0件。

イ 一般物資関係工場

- 計画的に工場視察を行い、不適切な部分についての改善指導を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染防止対策のため、中止となった。
- 物資選定に係る工場の衛生環境の確認のための視察について、新型コロナウイルス感染防止対策のため、中止となった。
- 一般物資関係工場の検査室利用の実績は無し。

ウ その他

- 全職員毎月1回の検便及び年1回の健康診断を実施した。その検便結果を15センターへ報告した。選定工場に対しても同様な検便と健康診断の実施を指導した。
- 全職員及び委託職員を含め10月から1月の間にノロウイルス検査を実施した。
- 全職員のインフルエンザ予防接種費用の半額助成を実施した。

3 学校給食の普及充実及び食育推進の支援に関する事業

(1) 学校給食の普及充実事業

ア 各種研修・講習会等の事業

- 「学校栄養職員初任者研修」(主催：県立総合教育センター)で新規採用職員6名に対し、本会職員が、「学校給食物資の衛生管理について」、「学校給食基本物資について」、「学校給食一般物資について」の講師を務めた。
- 栄養教諭・学校栄養職員を対象として食の指導など資質向上のため講師を招聘して「栄養教諭・学校栄養職員講演会」(主催)を7月16日に本会大会議室でオンラインにて開催。オンライン参加者93名、現地参加者9名。琉球歴史文化研究所クボウグランデ賀数仁然氏による「碧い国の食文化の歴史」の講演を実施した。
- 栄養教諭・学校栄養職員を対象として調理技術・資質の向上を図るとともに、学校現場における指導に役立てるため「学校給食調理講習会及び研修会」(共催)を例年開催していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から調理講習

令和3年度事業報告

会は中止とし、「栄養教諭・学校栄養職員研修会」（共催）を2月25日に本会大会議室でオンラインにて開催。オンライン参加者約68名、現地参加者5名。（公社）日本食品衛生協会 技術参与 佐藤邦裕氏による「異物混入の防止について」の講演を実施した。

- 学校給食調理従事者の調理技術の研鑽と意欲の向上に資するため「地場産物を活用した学校給食献立発表会」（主催）を、本会調理室・大会議室にて例年開催していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から発表会を中止とし、各地区11チームの献立をまとめた「地場産物を活用した学校給食献立集」を800部発行した。
- 沖縄県高等学校PTA連合会と共催し、保護者・生徒・教職員を対象に学校給食を通して食の知識を深めるための「PTA食育研修会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった。
- 県教育委員会が主体に「第21回沖縄県健康教育研究大会」（主催）を令和4年2月4～10日にWEB開催で録画配信した。特別講演に伊是名夏子氏による「逆境を楽しむ力～弱みを強さに変えて～」の演題で講演があった。分科会は第20回九州地区健康教育研究大会が8月に本県開催のため中止となる。
- 学校栄養士会及び沖縄県教育委員会と共催で、栄養教諭及び学校栄養職員を対象に医師等の専門家に食物アレルギー等の相談ができる「学校給食の安全に関する相談窓口」を開設した。令和3年度は17件相談があった。

イ 衛生管理支援事業

- 県教育委員会と共催し学校給食調理場所長、栄養教諭等、調理従事者を対象に行う「衛生管理（細菌検査）実技講習会」（主催）は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった。
- 栄養教諭等への検査器具の無償貸与及び検査室の開放を行う「学校栄養教諭等衛生管理支援事業」の検査器具貸出17件。内訳は手洗いチェッカー9件、ATP測定器7件、簡易ふ卵器1件。各調理場等における食材、食器具等の細菌検査残留試験を行う「学校給食調理場衛生管理支援事業」の依頼は無し。
- 本年度の学校給食調理場における異物混入等の調査依頼は47件、自主検査のための検査室利用は無し。
- 県教育委員会と共催で「県立学校給食衛生管理講習会」を実施。本年度は沖縄県環境科学センターの講師による「学校給食における衛生管理について」、県教育庁保健体育課指導主事による「学校給食における食物アレルギー」、本会職員による「学校給食用物資の衛生管理について」の講習用DVDを配布した。

ウ 広報活動

- 広報誌「うちなー」は第111号（1,000部）を7月、第112号（1,000部）を

令和3年度事業報告

11月、第113号(1,000部)を令和4年1月に発行した。

- 本会の業務内容等の情報提供をホームページで随時更新した。
- 本年度においても学校給食に関するリーフレット、パンフレット等は無償配布した。又パネル等は学校等関係先へ随時無償貸出を実施した。
- パネルの貸出実績は4件。
- 毎年沖縄県教育委員会と共催し、学校給食の一層の充実発展を図るため、給食週間における取り組みを視察し、情報交換等(①学校長による取り組みの説明 ②児童生徒との給食の会食)を行っていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった。

エ 図書資料等の貸出

- 本年度の専門書籍貸出5件、紙芝居2件、ビデオ等貸出1件であった。

オ 関係団体への助成

- 本年度の助成額は1,350千円であった。

団体名	助成額
沖縄県学校栄養士会	650,000円
沖縄県学校給食研究協議会	150,000円
沖縄県高等学校給食研究協議会	100,000円
特別支援学校給食研究会	150,000円
共同調理場連絡協議会	150,000円
沖縄県健康教育大会負担金	150,000円

カ 本会施設の開放

- 本会の調理室及び会議室等を学校給食関係者及び学校教育関係団体等へ無償貸出を行い、利用実績は66回であった。

	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	計
会議室	16回	11回	19回	12回	58回
調理室	4回	3回	0回	0回	7回
図書室	0回	0回	1回	0回	1回
計	20回	14回	20回	12回	66回

(2) 食育推進の支援事業

ア シンポジウム、研修・講習会の開催

- 沖縄県教育委員会、沖縄県PTA連合会、沖縄県学校栄養士会、沖縄県学校給食研究協議会と共催し「食育シンポジウム」を、「生涯にわたって心豊かにたく

令和3年度事業報告

ましく生きる力をはぐくむ食育の推進」～うりひゃー・でーじなとん！できることから始めよう～をテーマに掲げ、例年8月に開催していたが、第20回九州地区健康教育研究大会の沖縄県開催と新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった。

- 沖縄県学校栄養士会と共催で開催している「食と子どもの健康展」は、①特設サイトの制作・公開（全7地区の地場産物を活用した献立や食育の取り組みの紹介、給食センターや生産者の動画、食育クイズを掲載）、②北部地区食と子どもの健康展（7月22日～8月3日にイオン名護店で地場産物や給食センターの紹介、食育クイズや行事食に関する資料の展示）を行った。
- 「学校栄養士による家庭・地域と連携した食育実践講座」は本島4地区の国頭・中頭・那覇・島尻と宮古、八重山及び特別支援学校で例年開催していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった。

イ 食育推進のための教材等の貸出事業

- 本年度の教材等の貸出回数は、フードモデル1回、琉球漆器16回、バイキング食器4回、ランチ皿7回、その他食器1回、指導用教材1回であった。
- 本県独自の食文化を子どもたちに伝えることで、地域への関心を高め、生命を育む自然への畏敬の念や郷土を愛する心を養うことを趣旨に食育カレンダーを沖縄県学校栄養士会と共同で作成していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から作成委員会の開催を中止とし、市販の食育カレンダーを学校給食関係者等へ900部配布した。

ウ 地産地消の推進

- 県産米は、本会年間玄米使用量1,553tのうち約6%にあたる100tをJA沖縄から購入し、県内児童生徒へ供給した。
- 牛乳は年間で29,286,297個を供給。その内訳は、県産生乳を使用し県内で製造した牛乳が23,097,897個78.9%、県外産生乳を使用し県内で製造した牛乳が4,034,739個13.8%、県外で製造した牛乳が1,069,270個3.6%、加工乳が907,050個3.1%、乳飲料が177,341個0.6%となった。
- その他に、JA沖縄を通じて中国九州地区12県の学校給食会にパイン・黒糖を供給し、その内パイン5,386kg、黒糖6,837kgを県内の学校給食へ供給した。また、4月から新規商品として、県産桑の実を使用した(桑の実スティックジャム)、県産まぐろを使用した(まぐろやわらかカツ)を取り扱い開始し、西表産黒米を使用した黒米粉パン、県産黒糖を使用した黒糖パン、県産紅芋を使用した紅芋パン、県産モズク等県産素材を使用して県内加工メーカーで商品化した約40品目(年間164,193kg、金額107,978千円)を県内児童生徒へ供給した。